

科目名	ドイツ語Ⅰ	
担当者	山原 芳樹 / YAMAHARA, Yoshiki	
科目情報	外国語（ドイツ語） / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
科目概要	授業内容	ドイツ語圏の社会・文化・歴史に関するテーマをキーワードにした短い会話や文章を学びながら、ドイツ語文法の基礎を習得する。またCDやDVD教材を活用しながら、街角や日常生活の中から自分の知っていることとは異なる点を見つけ出し、その社会的背景の理解を深める。
	到達目標	1) ドイツ語の母音および子音に関する発音原則を理解し、単語や文章をきちんと音読できる。2) 日常の挨拶や簡単な会話ができるようになる。3) 簡単な自己紹介ができるようになる。
授業計画	(1) ヨーロッパ各国とドイツ語圏、EU加盟国、世界の言語 (2) 文字、つづりと発音、母音と注意すべき子音の発音 (1) (3) 発音のポイント、母音と注意すべき子音の発音 (2) (4) 第1課「市場にて」聞き方と答え方、読み方の要領 (5) 主語と動詞の現在形 (1)：動詞の仕組みと人称代名詞 (6) 主語と動詞の現在形 (2)：ドイツ語の名詞 (7) 主語と動詞の現在形 (3)：文章の形 (8) 第2課「ビールとワイン」自己紹介と注文の仕方 (9) 重要な動詞：sein動詞（である）とhaben動詞（持っている） (10) 表現練習：飲み物と食べ物、名詞の性と格 (11) 会話練習：出身地、趣味、メロディーとリズム (12) 第3課「家の中と外」年数や面積、高さの聞き方 (13) 重要な動詞：wissen（知っている）とmöchte（～したい） (14) 表現練習：疑問詞の種類と使い方、読解法とクイズ (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・授業の初めに、前回の授業内容の小テストを行う。
使用教材・参考文献	【教】『ドイツ・サラダ』保坂良子著、2011年、朝日出版社（ISBN978-4-255-25333-6 C1084） 【参】独和辞典（必ず用意すること、備考参考）	
成績評価方法と基準	<基準>ドイツ語で簡単な自己紹介ができ、総合点で60点以上を取得した者は合格とする。 <方法>受講態度20点、小テスト20点、期末試験60点。	
備考	・『新アポロン独和辞典』（同学社）、『新アクセス独和辞典』、三修社、『新クラウン独和辞典』（三省堂）等、見出し語数が5万以上のものが望ましい。 ・教員が指示する『読書』課題の遂行を、成績評価を受けるための前提とする。詳細は、初回の授業で説明する。	